

令和4年度(2022年度)熊本県産農林水産物等の輸出実績について

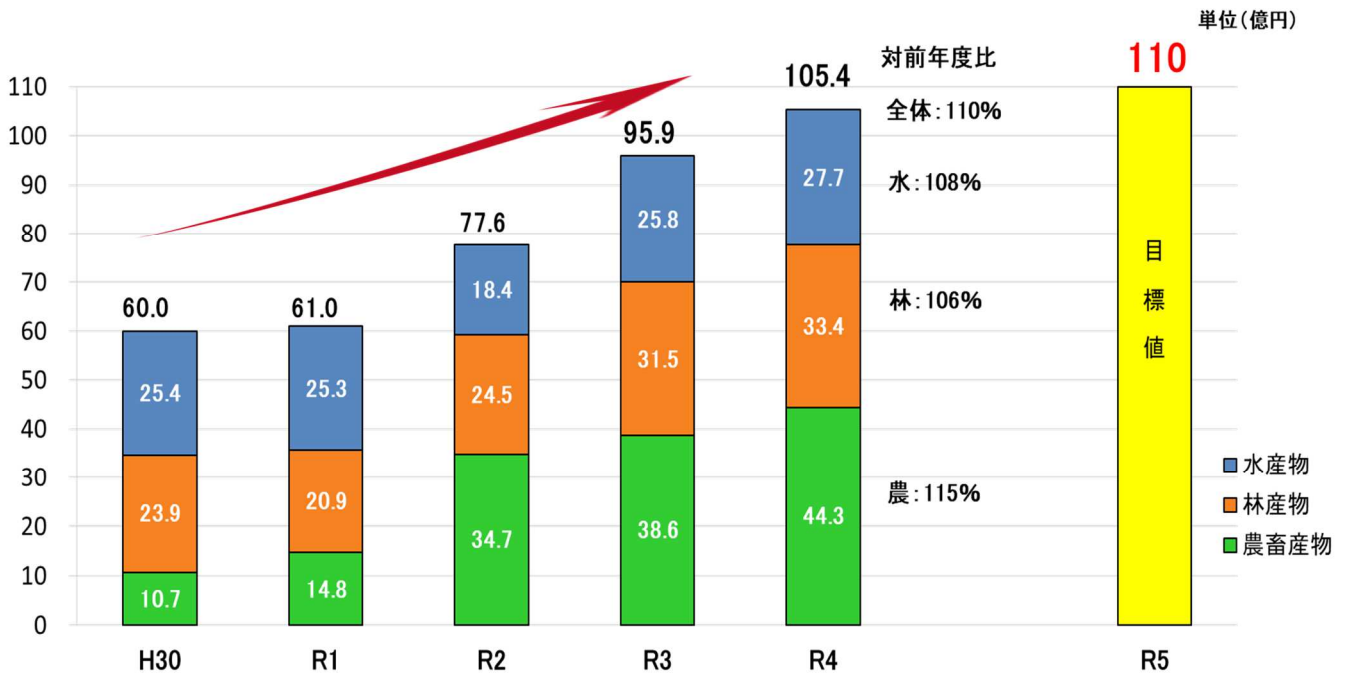
概要

- 令和4年度の本県産農林水産物等の輸出額は、**105億4千万円** (対前年度比**110%**)となり過去最高を更新。
- 部門ごとの輸出実績は次のとおり。

	令和4年度 輸出実績	(参考) 過去2年の輸出実績	
	輸出金額 (対前年度比)	令和3年度	令和2年度
農畜産物	44億3千万円 (115%)	38億6千万円	34億7千万円
林産物	33億4千万円 (106%)	31億5千万円	24億5千万円
水産物	27億7千万円 (108%)	25億8千万円	18億4千万円
<b>合計</b>	<b>105億4千万円 (110%)</b>	95億9千万円	77億6千万円

農畜産物には加工食品を含む。  
観光戦略部販路拡大ビジネス課、農林水産部林業振興課・水産振興課調べ

【参考】県産農林水産物等の輸出実績推移



【お問い合わせ先】

販路拡大ビジネス課 渡邊・松本 内線: 52353 (直: 096-333-2395)  
林業振興課 野田・遠山 内線: 38242 (直: 096-333-2448)  
水産振興課 山下・生嶋 内線: 38442 (直: 096-333-2457)

# 各部門の概要

## 農畜産物

### 概要

多くの国や地域での経済活動の回復を背景に、牛肉やいちご、メロン等の輸出が増加したこともあり、輸出量、輸出額ともに過去最高となった。

○台湾でのトップセールスや海外小売店での「熊本フェア」などを実施し、積極的に販路拡大に取り組んだ。



香港でのいちごフェア

【令和4年度(2022年度) 農畜産物の品目別・国別輸出状況】

(単位:千円)

	米	かんしょ	いちご	梨	メロン	かんきつ	牛肉	牛乳	その他の農畜産物	加工食品(酒類含む)	合計	合計(R3)	対前年度比
台湾	191	1,992	22,992	10,178	0	392	1,395,435	2,993	50,158	55,781	<b>1,540,112</b>	1,191,062	129%
香港	867	20,973	214,807	3,796	41,869	30,946	602,561	163,483	128,952	94,866	<b>1,303,120</b>	1,302,600	100%
アメリカ	2,344	0	7,667	0	209	0	335,909	0	0	222,362	<b>568,491</b>	617,219	92%
シンガポール	17,691	0	60,665	307	14,209	1,422	57,383	0	17,803	50,812	<b>220,292</b>	169,256	130%
中国	0	0	0	0	0	0	0	0	11,725	152,875	<b>164,600</b>	149,494	110%
タイ	0	0	66,325	0	0	0	43,443	2,367	3,528	22,922	<b>138,585</b>	130,602	106%
その他	541	0	12,719	80	834	0	299,037	0	1,960	177,792	<b>492,963</b>	302,839	163%
<b>合計</b>	<b>21,634</b>	<b>22,965</b>	<b>385,175</b>	<b>14,361</b>	<b>57,121</b>	<b>32,760</b>	<b>2,733,768</b>	<b>168,843</b>	<b>214,126</b>	<b>777,410</b>	<b>4,428,163</b>	3,863,072	115%
合計(R3)	18,942	15,724	213,836	15,764	42,709	49,374	2,226,904	181,616	222,873	875,330	3,863,072		
対前年度比	114%	146%	180%	91%	134%	66%	123%	93%	96%	89%	115%		

県が輸出を把握している団体・業者への調査

### 品目別の輸出状況

輸出額の6割以上を占める牛肉は、和牛人気を背景に台湾向けを中心に増加。

いちごは、アジアでの安定した需要に支えられ、台湾(対前年度比245%)や香港(同228%)向けが大幅に増加。

メロンは、海外でのニーズが高い赤肉メロン等を中心に輸出が拡大。また、アジア向けに加え、アメリカへの輸出が開始。

# 林産物

## 概要

最大の貿易相手国である中国に対し、新型コロナウイルス感染拡大後の経済回復に伴い丸太輸出が増加したこともあり、輸出量、輸出額ともに過去最高となった。

台北ビルディングショー(台湾)への出展や、アメリカ、タイ、ベトナム等へのテスト輸出、令和3年度にタイに設置したモデルルームの活用によるPR活動等を実施し、販路開拓に取り組んだ。

【令和4年度(2022年度) 木材の品目別・国別輸出状況】

輸出先国名	丸太		製材品		合計		対前年度比	
	材積(m3)	金額(千円)	材積(m3)	金額(千円)	材積(m3)	金額(千円)	材積(m3)	金額(千円)
中国	156,692	2,349,222	441	9,438	157,133	2,358,660	104%	108%
韓国	29,253	702,617	851	46,096	30,104	748,713	113%	114%
アメリカ	0	0	1,983	142,472	1,983	142,472	50%	67%
台湾	1,212	25,831	1,002	38,911	2,214	64,742	74%	84%
ベトナム	746	18,081	35	1,657	781	19,738	429%	625%
タイ	0	0	55	4,132	55	4,132	8%	27%
合計	187,903	3,095,751	4,367	242,706	192,270	3,338,457	104%	106%
令和3年度合計	178,244	2,841,911	6,908	308,180	185,152	3,150,091		
対前年度比	105%	109%	63%	79%	104%	106%		

財務省「貿易統計」及び林業振興課調べ

## 品目別の輸出状況

丸太は、中国の経済回復による旺盛な木材需要の影響等により、順調に増加。

製材品は、ベトナム等への新たな販路開拓があった一方、主力であったアメリカ向けフェンス材が同国における住宅需要の急落により需要が激減したことから、低調となった。



台北ビルディングショー

# 水産物

## 概要

北米、アジア(韓国、中国、香港、台湾等)向けに、ブリ、マダイ、シマアジ等の養殖魚を中心に輸出。ブリの輸出額が減少した一方、マダイのアジア向け輸出額が大幅に増加したことから、輸出額は昨年に引き続き過去最高となった。

【令和4年度(2022年度)水産物の魚種別・地域別輸出状況】

(単位：千円)

	ブリ	マダイ	シマアジ	カンパチ	その他	計	令和3年度	対前年度比
北米	726,132	364,608	99,049	5,613	26,851	1,222,253	1,554,600	79%
アジア	334,205	827,352	108,790	175,053	70,394	1,515,794	947,201	160%
韓国	64,520	760,625	14,059	167,768	2,320	1,009,292	507,416	199%
中国	162,604	17,051	54,446	4,491	6,193	244,785	137,104	179%
香港	57,164	3,783	14,451	489	26,831	102,718	134,137	77%
台湾	15,651	25,643	22,508	0	12,049	75,851	125,847	60%
その他	34,266	20,250	3,326	2,305	23,000	83,147	42,697	195%
EU(欧州)	0	0	0	0	12,324	12,324	22,060	56%
その他	5,571	3,503	7,029	1,800	6,566	24,469	56,536	43%
計	1,065,908	1,195,463	214,868	182,466	116,135	2,774,840	2,580,397	108%
令和3年度	1,521,079	669,968	205,122	60,928	123,300	2,580,397		
対前年度比	70%	178%	105%	299%	94%	108%		

「令和4年度(2022年度)水産物輸出実績調査に基づく水産振興課調べ

## 〈魚種別の輸出状況〉

- ブリの稚魚であるモジャコの漁獲量が少なかったため、出荷量の減少に伴い、ブリの主な輸出先である北米の輸出額が減少。
- マダイは、特に韓国でのニーズの高まりを受け、アジア向けに大幅に増加。



販路拡大に向けた、バイヤー招へい(漁場見学)の様子